

JUNGIDO

道義の桜、咲いて100年

1898 =  = 1997

1998年は創立100周年です

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 道義堂

発行人/宇野 勝
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所2-11-1
 TEL.0775-24-4295-0775-23-2304 (校友課) FAX0775-24-1732
 発行日/平成9年4月15日
 編集人/広報部会・谷口啓司
 印刷/有限会社服部印刷所

VOL.10

CONTENTS

募金目標額決まる	1
同窓会入会にあたって	1
平成9年度総会案内	1
百周年記念事業大綱決定	2
年代別座談会出席者報告	3
百周年に寄せて	4
会員名簿出版について	5
周年同窓会予告	5
周年記念同窓会報告	6
会費納入のお祝い	7
膳所高NEWS	8

募金目標額決まる

創立百周年記念事業実行委員会総会
 同窓会理事会 同時開催



三月二十二日午後二時より、大津市の滋賀県教育会館大ホールにおいて、膳所高等学校同窓会理事会と創立百周年記念事業実行委員会総会が、顧問である旧校長先生方や参与である県会議員、そして同窓会理事(創立百周年記念事業実行委員)150名の出席のもとに開催された。

創立百周年記念事業実行委員会総会では、記念事業計画案、予算配分案が主なる議案として三つの議案が審議された。

事業計画案として、募金推進部会からは、募金活動を一億円を目標に本年六月より開始すること、環境・施設整備部会から、第二グラウンド整備を中心として検討中であること、また、記念行事典部会から、平成十年十一月七日(土)に決定している式典の記念公演に京都市交響楽団を招くこと、百年史記録部会からは400頁の一冊本を発行予定していること、組織名簿部会は、平成十年五月から六月頃に名簿を刊行する予定であること、さらに、広報部会では、百周年の告知や募金推進のための媒体としてモニュメントや横断幕の制作を考えていることなど、各部会よりそれぞれ提案され、いずれも異議なく承認された。(詳細は2P)

創立百周年記念事業実行委員会総会に先立ち開かれた同窓会理事会では、五月十一日(日)の同窓会総会に上程される平成九年度事業計画や予算案など四つの議事が審議され、原案通り承認された。

同窓会入会にあたって

杉江 公彦



今、三年間通った膳所高校を卒業してみると、短いようで長かった三年間だったと思えて来ます。僕の高校生活は一言で言えば「甘酸っぱい」ものでした。僕が生徒会長であった時、学

の同窓会に入会するにあたって、僕は大変光栄に思っています。そしてそれと同時に、膳所高校の卒業生としての自覚を持って生きていかねばならないと切に感じています。

さて、来年、膳所高校は創立百周年を迎えます。これが意味するのは、ただ単に膳所高校が出来て百年経ったという事ではなく、校歌にもあるように、脈々と流れる膳所高校の伝統を受け継ぎ、更にはそれを発展させて行く一つの大きな契機であると考えています。膳所高校の卒業生の多くは社会の第一線で活躍されていますが、僕は昨今よく耳にする私利私欲にひた走る金の亡者ではなく、膳所高校で学んだ道義の精神を忘れずに生きていかなければならないとひしひしと感じています。

会費納入ありがとうございました。

同窓会会費納入状況

皆様から納入いただきました、平成8年度の同窓会会費は、平成9年2月末日現在、
総額 15,112,000円
 となっています。前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただいております。
 会員の皆様のご理解に感謝しますと共に、ますますのご協力をお願いいたします。
 今回、平成9年度会費として振替用紙を同封いたしておりますので、ご納入のほどよろしくお願いたします。
 会費納入の詳細については7ページをご覧ください。(財務部会)

平成9年度 総会のお知らせ

総会は毎年5月の第2日曜日です。多数のご参加をお待ちしています。

平成9年度 総会

- 日時 平成9年5月11日(日)午前10時開会
(午前9時30分受付開始)
- 場所 大津プリンスホテル
TEL0775-21-1111
- 議事 平成8年度会務報告
平成8年度会計報告並びに会計監査報告
- 講演 「成人病(生活習慣病)」
講師 大津市民病院内科医長 西尾 利二氏 (膳所高38回卒)
- 懇親会に出席される方には、会費として10,000円を当日いただきましたたく存じます。
- 出席のご返事は同封の葉書でお願いします。異動等のない方および欠席の方はご返信いただくなくても結構です。

百周年 記念事業 大綱決定

創立百周年記念事業実行委員会総会

3月22日(土)14時より滋賀県教育会館で同窓会理事事に引続き、創立百周年記念事業実行委員会が開催され創立百周年の記念事業の概要・募金要領が決定されました。また、各部会の事業計画・予算配分についても承認されました。これにより、各部会を中心として今後平成10年11月7日の記念式典に向けて、活発な事業が推進されていくものと思えますので、同窓会会員の皆様の倍旧のご支援ご協力を切にお願いいたします。



滋賀県立膳所高等学校 創立百周年記念事業計画

1 記念事業概要

- (1) 記念式典及び記念行事の実施
平成10年11月7日(土)
- (2) 百年史の記録、編集及び出版
- (3) 百周年記念環境・施設整備等の事業
- (4) その他

2 募金要領

- (1) 募金目標額 1億円
- (2) 募金期間 平成9年6月から平成10年5月まで
- (3) 募金方法 1口50000円(できるだけ2口以上の協力を依頼)

百周年記念事業 各部会の事業計画

1 記念行事式典部会

平成10年11月7日(土)。「式典」と「祝宴」に分け、「式典」は学校が(学校行事として)、「祝宴」は同窓会が、中心となって計画実施する。

時間・内容 8:30 受付

9:00~10:00 挨拶、式辞、物故者追悼

10:20~11:40 記念公演「京都市交響楽団」

参加者 生徒、現教職員、旧職員・来賓、PTA・同窓会 合計2000名
場 所 (候補) びわ湖ホール、県立体育館
式典費用についてはその時の在校生の芸術鑑賞費約500万円を主財源にした600万円の予算とする。

「祝宴」

時間 12:30 受付 13:30 開宴
場 所 (候補) びわこホテル、プリンスホテル

2 百年史記録部会

当初、「教育史」「同窓会史」「写真集」の3分冊案を考えていたが、予算配分、現在の進捗状況を考慮して、400頁の一冊本に変更して、発刊する。

3 組織名簿部会

事前の調査を行った上で、平成10年の5月から6月ごろに名簿を刊行する。購入希望者に頒布。

4 募金推進部会

1億円を目標に募金活動を展開。募金の開始は、平成9年6月。「募金趣意書」の発送を前に、細目の検討を急ぐ。

5 環境・施設整備部会

従来挙げている四案を中心に内容を絞り、決定する必要があるが、第二グラウンド問題の進行状況によるので、今少しお待ちいただきたい。

6 広報部会

シンボルキャラクター、キャッチフレーズ募集。宣伝用ビラ、ポスター、モニュメント、校舎壁面垂れ幕、各種大会での応援の横断幕、等を計画。

予算配分

記念行事式典部会	650万円
百年史記録部会	100万円
組織名簿部会	1200万円
募金推進部会	50万円
環境・施設整備部会	1000万円
広報部会	6000万円
諸経費	100万円
総 額	900万円
	1億円

百年史記録部会 詳細報告

●製作仕様内定

前述の部会事業計画にも記しましたが、当初教育史・同窓会史・写真集の3分冊を予定しておりましたが、予算および制作日程など諸事情から、400頁程度の記念誌としてB5判に合本制作することにしました。

《教育史部分》

80年誌からの抜粋に、その後の年代部分を追録した「通史部分」、特筆すべき事柄についての解説

を記した「特集部分」、「資料・年表」以上3部から構成。

《同窓会史部分》

平成8年4月27日の「戦時下の教育」座談会に始まり、今日まで5回の同窓生年代別座談会を開催しており、今後更に2、3回の年代別座談会を開催し、その要約を掲載するほか、クラブ活動についての報告を紹介。

《写真集部分》

目で見ると100年と題し、一部カラー写真も取り入れながら同窓生の方々からご提供いただいた写真や資料をとりまとめ掲載。

なお、この写真集については、在校生配布用として別冊を予定しております。

また、今後の制作過程で、若干の頁数や仕様の変更が生じることもありますのでご了承ください。

●編集進行状況

教育史部分の通史部分、特集部分については、現在、学校の先生方のご尽力により半分近く原稿または原稿となる資料をまとめていただいております。今後は業者と協力しつつ、文章化・リライト・編集にと作業を進めていく予定であります。業者については指名入札制を採用し、本広報が発行される頃には決定する予定であります。

同窓会史部分の年代別座談会については、現在テープ起こしの専門業者フオノライターのもとで要約を進めており、今後この要約原稿を仮編集したうえで、各座談会出席の方々へ内容の確認をお願いし、最終編集にかかっています。業者は、最終編集については近日中に専用原稿用紙を作成し、各担当の方々へ執筆をお願いすることになると思っておりますので、その節にはよろしくご協力ください。

写真集については、現在学校当局において年代別に整理いただくとともに、一部アルバムとして複製を進めていただいております。今後業者のものと、これを抜粋・編集していく予定であります。同窓生の方々で在校当時の写真や資料等をお持ちの方は、ぜひともご提供・協力いただきますようお願いいたします。

以上のように、若干スケジュールが遅れ気味ではありますが、準備できるものから作業を進行中です。本JUNGI DO 毎号8頁に百年史編集室からと題し、情報提供のお願いを掲載させていただいておりますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

今後、学校当局、同窓生の方々、そして選定業者の方々のご協力をいただきながら、平成10年11月7日の創立百周年記念式典日まで完成・発刊できるよう頑張らせてまいりたいと思っております。よろしくご支援ください。

創立百周年記念式典は平成十年七月七日(土)です。

今なお鮮明に…… 学生生活の思い出

同窓会史 年代別座談会 継続開催される！

■内容については「百年史」に掲載いたします。
ご期待ください。



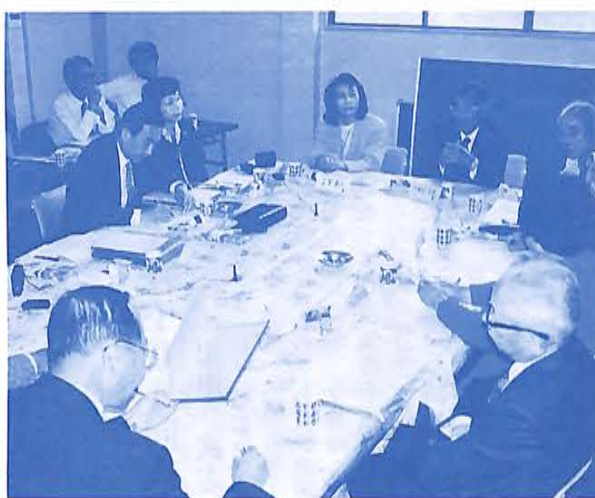
- 出席者
- | | | |
|-------|--------|---------|
| 小島 信三 | 大正9年卒 | (膳中18回) |
| 小泉 参次 | 大正14年卒 | (膳中23回) |
| 岩崎 新定 | 昭和6年卒 | (膳中29回) |
| 山口 善造 | 昭和6年卒 | (膳中29回) |
| 細田 精一 | 昭和8年卒 | (膳中31回) |
| 平本 晃 | 昭和10年卒 | (膳中33回) |
| 山口 勝 | 昭和10年卒 | (膳中33回) |
| 宇野 勝 | 昭和12年卒 | (膳中35回) |
| 平井 忠 | 昭和14年卒 | (膳中37回) |



●大正9年卒業(膳中18回)
～昭和14年卒業(膳中37回)
ロンドンで通じた
膳中の英語教育

日時 平成8年9月28日(土) 14時～17時
場所 膳所高校(クラブハウス)

- 出席者
- | | | |
|--------|--------|---------|
| 齊藤 文雄 | 昭和28年卒 | (大津東1回) |
| 奥野 孝子 | 昭和29年卒 | (大津東2回) |
| 西田 二郎 | 昭和30年卒 | (大津東3回) |
| 原田 道雄 | 昭和31年卒 | (大津東4回) |
| 川那辺 吉定 | 昭和32年卒 | (膳所高5回) |
| 古賀 泰子 | 昭和33年卒 | (膳所高6回) |
| 松田 明美 | 昭和34年卒 | (膳所高7回) |
| 畑中 昇 | 昭和35年卒 | (膳所高8回) |
| 谷口 英信 | 昭和36年卒 | (膳所高9回) |



●昭和28年卒業(大津東1回)
～昭和36年卒業(膳所高9回)
膳所高校歌制定
戦後初の甲子園出場

日時 平成8年10月19日(土) 14時～17時
場所 膳所高校(クラブハウス)

- 出席者
- | | | |
|-------|--------|----------|
| 吉澤 健 | 昭和37年卒 | (膳所高10回) |
| 小笠原 勇 | 昭和38年卒 | (膳所高11回) |
| 河原林 晋 | 昭和39年卒 | (膳所高12回) |
| 増田 雅子 | 昭和40年卒 | (膳所高13回) |
| 山田 吉則 | 昭和41年卒 | (膳所高14回) |
| 岩崎 正康 | 昭和42年卒 | (膳所高15回) |
| 石川 正明 | 昭和43年卒 | (膳所高16回) |
| 宇野 正剛 | 昭和44年卒 | (膳所高17回) |
| 山下 由行 | 昭和45年卒 | (膳所高18回) |
| 園 孝裕 | 昭和46年卒 | (膳所高19回) |
| 山岸 克己 | 昭和47年卒 | (膳所高20回) |
| 桑原 知子 | 昭和48年卒 | (膳所高21回) |
| 岡崎 真理 | 昭和49年卒 | (膳所高22回) |
| 姜 永根 | 昭和50年卒 | (膳所高23回) |



●昭和37年卒業(膳所高10回)
～昭和50年卒業(膳所高23回)
風雪を刻んだ校舎から
真新しい校舎へ

日時 平成8年11月30日(土) 15時～18時
場所 膳所高校(クラブハウス)

(敬称略)

『百周年に寄せて』

●創立百周年記念実行委員会総会参加者の声

この間の様に感じますが、早や100周年を迎える為に皆様が綿密に計画され行動されている事に深く感謝致します。未だ日があると思っていると大変な間違いで同窓会全員の御協力を得るよう期待してます。

百周年を機に校訓を

宇野 昌明
昭和26年卒業
(旧大津高2回)

武原校長先生から校訓のお話を聞き、至誠遵義、自主力行を口づさみ、この校訓にもとめることは無かったか反省している次第です。明治、大正、昭和、戦前戦後と色々の歴史環境を通っての百周年、今又世紀末の様相の中にあつて一貫して人生の指針となり、日々の寄りどころとなる校訓を作ることは、それ自体「教育の実践」と思い先生に同感しました。

伝統ある母校の百周年

記念事業を成功するために

堀尾 正
昭和26年卒業
(旧大津高2回)

地域別(例えば、近江八幡地区、守山地区等)OB会の更なる結成、強化を図るとともに、記念事業の実行、趣旨の周知に努め、併せて協力を依頼しては。

みんなで祝う百周年

小林 正子
昭和26年卒業
(大津高2回)

戦後の学制改革のまっただ中、校名校歌も目まぐるしく変わる落ちつかない学生生活を送った卒業生です。旧膳中から現膳所高迄母校に対する思いも格段の差があると思いますが、そのかけ橋的な

役割を我々がとめて皆で百周年を祝いたいと思います。

今も高校時代の歌声が心に

上林喜久郎
昭和30年卒業
(大津東3回)

入学して間もなく、班員を募集して音楽班を創設。ゼロからの出発だったと思う。手造りのスピーカーでレコードコンサートをしたり、弦楽器を中心にアンサンブルの演奏会を開いた。混声合唱で県代表となりNHKコンクールに出場したのも心に残る。

一足お先に公式戦100回優勝

須田 武志
昭和34年卒業
(膳所高7回)

創立100周年に向けてバスケット部公式戦100回優勝をめざしていましたが、今年の1月に1年早く念願の公式戦100回優勝を達成することが出来ました。多くの先輩の偉業に感謝しつつ、さらに新たな伝統を築き上げたいと思います。今後ともよろしく。

雪が吹きこむ体育館で学んだ

白倉 一路
昭和34年卒業
(膳所高7回)

校門を入って左へ、そして右折れ、古き遵義の桜の下をくぐると左手に体育館があった。もちろん木造、床はすりへって波打ち、時には犬が走り廻っている。まぶたに浮ぶのは青春の友の笑顔。不思議と新しい校舎は出てこない。良きかな膳所の学び舎。

21世紀の

リーディングスクールを

吉沢 健
昭和37年卒業
(膳所高10回)

私どもの入学時で既に60年を経過し往年の先輩に比し、軟弱だ、気骨がないといわれた。今はそのような言葉すら死語化している。21世紀に必要な校風、生徒像を我々も共に考え、永遠に存続する膳所高を期待しよう。

膳所高の新たな世紀に、

新たな息吹を

木下 純一
昭和42年卒業
(膳所高15回)

幹事以外の役員32名のうち膳所高卒業回数2ケタの若い役員は6名にすぎない。これで若い世代の意見や活動が反映されるはずがない。同窓会活動の活性化と創造的発展のために、若いエネルギーと献身的なボランティア精神を生かすべく役員改選を希む。

電子メールで不明者捜し

藤本 健太
平成3年卒業
(膳所高39回)

卒業者名簿作成のための不明者捜しを電子メールを用いて行ったところ、ずいぶん効率のよい調査ができました。多くの同窓生がメールを活用されることを望んでいます。<ken@osk.threewebsnet.or.jp>

■「百周年に寄せて」原稿を募集しています。同窓会事務局までとじしお送りください。

3月22日の百周年実行委員会(略称)に参加いただいた方々に、「百周年に寄せて」と題してご意見ご感想や思い出など自由にコメントいただきましたのでご紹介いたします。

教育における伝統と創造

村田 昇
昭和19年卒業
(膳中42回)

「至誠遵義・自主力行」石鹿の学舎を築立ってからすでに50年以上を経た今日も、この校訓は脳裡に鮮やかであるし、私の心の奥に生き続けていると思う。この不易の理念を新たな意味付けの下に生かしていくことが、今、求められているのではなからうか。

記念事業の具体的内容について

堀池甚五郎
昭和19年卒業
(膳中42回)

後々に残るものをもっと具体的に考えるべきであらうと考えます。更に次の50年後、100年へも残るものと考えてやるべきである。モニュメントとか会館とかはどうかと思う。

光陰矢の如し

三品德之助
昭和20年卒業
(膳中43回)

90周年実行委員長として毎日を飛び廻ったのが、

周年記念同窓会



30周年記念同窓会（昭和41年卒業）



恩師の松山先生からも、祝辞の中でこのテーマについて「五十才を迎える君たちがさまざまな苦しみ、内秘めて、楽しく生きていくところ、今回のテーマの、たのしく、粋に、というところである」と高松時代の授業を彷彿させる語り口で、お話ししていた。（しかし「今日は」たのしく、粋に「生きるための命の洗濯の日である」ということ）

そうして、懇親会が始まると、会場はただただ懐かしさいっぱい同窓会になってしまい、「気分は青春！」と青春時代の友情と連帯感の再確認のオンパレードで、必ずしもテーマを設けた同窓会の当初の趣旨どおりではなかったかも知れないが、結果としては大成功で、二次会にも一次会出席者の八割近くが参加し、新たな活力を身体いっぱい感じた一日となった。

二十一世紀の初年、西暦二〇〇一年には、卒業三十五周年が巡ってくる。三〇周年同窓会のおかげで、次からの再会のきっかけを作れて心から喜んでる。

（実行委員長 藤村 洋二）

東一会報告（昭和28年卒業）

昭和28年3月卒業（大津東一回）の関東同期会は東一会と称し、昭和60年鎌倉山「榎亭」において第一回を開催以来、青山子供の城・ホテルニューオータニ「招月亭」・第一ホテル東京ベイ・深川清澄園「涼亭」横浜ランドマークプラザ「美濃吉」：と毎年場所を替えての3月開催が恒例となり賑々しく集っている。

今年第十三回は3月8日（土）恵比寿ガーデンプレイスタワー39階の東天紅中華料理を囲んだ。当日は好天気に恵まれ、臨海副都心・レインボープリッジなど都内一円はもとより、北には筑波山、西には丹沢山塊など眺望も楽しんだ。

会員名簿には80名が登録されており、毎回約30名が出席し、関西その他各地からのご出席も大歓迎で、昔話もあるが、健康談義・ダンス・テニス・ゴルフ・政治問題・孫・第二の人生など今話も多く美酒と共に時の過ぎるのを忘れる三時間である。毎年逢っていると、お互いに寄る年波を感じないのも不思議で、また次回は何処の景色をそして何を味わうのかと楽しみである。

なお東一会の創設と永代幹事として大変なお世話を戴いた井上雅生（旧姓小林）会員が平成5年に早世され……合掌……以後、皇子山・粟津・附属・打出等の出身中学グループ単位で交替幹事を勤めている。

（山元 融）

昭和60年卒（膳所33回）同窓会

盛大に、はじめての学年同窓会実現！

平成9年正月3日、卒業以来12年ぶりにはじめての学年同窓会が、新年の松飾りが華を添える大津びわこ畔のロイヤルオークホテルにて実現しました。恩師は1組担任の佐野先生、2組の須田先生、4組の山本先生、5組の大野先生、6組の向井先生、7組の村西先生、10組の森野先生、学年主任の平尾先生、英語の大江先生、理科の伊藤先生、数学の里井（旧姓）先生の11名の先生方にご臨席いただき、同期生181名の参加を得て本日に盛大な同窓会となりました。

卒業して12年と言え私達も30代に突入したということ。これを機に一度学年同窓会を行って名簿も整理し、今後の同窓会活動を円滑にしようという提案された企画でしたが、何せはじめてのこと。どの位参加があるのか、連絡はどうするか、予算はと手探りしながらやっとのことで当日を迎えたのでした。蓋を開けてみれば、予想以上に集まったなつかしの面々。初々しいまま変わらない人、ずい分頼もしくなってきた人、職業も生活環境も皆それぞれだけれど、らしさが感じられる顔に会い、昔の話や今の話、約3時間の宴はタイムスリップの連続。また余興の膳所高にまつわる〇×クイズでは、その適度な難しさに感動を覚えました。（始業時間は何時？ 現在在校生の男女比は？等）。こうして記念すべき第一回同窓会は熱気を残して終了。今後は5年毎に学年同窓会を開催することが決まりました。

最後に代表幹事の澤博史・智子夫妻をはじめ、開催に尽力下さった同期の皆さん、またご多忙にも関わらずご出席いただきました先生方、本当にありがとうございました。

（本多 美香）

霜月会（昭和25年卒業）

平成八年十一月九日、私達は六十五才と言う節目の年の霜月会を琵琶湖ホテルにて開催いたしました。五年前の還暦の霜月会も、夜の湖上に浮か



ぶピアノの美しい光景を見ながら当ホテルに集いました。その時の想いが忘れられず、この記念すべき懐かしい場所でお声をかけましたところ二十二名の出席をいただき宴は燃え上がりました。翌日希望者のみピアニカにのりま

ない頃から大地の母のようにはぐくんでくれた山や町を眺めながら、又昼食をとりながら、船上での私達は歓喜の声がはびきり、琵琶湖からみる景色は又々格別、故郷の大きな愛にすこく充たされていきました。又、還暦の折にならって、色紙に全員でサインをし、それをテレホンカードに作成、記念品にいたしました。還暦のそれには真中に「遊」という文字を入れ、今回は「楽」を入れました。次の節目七十才の霜月会にはどんな文字が入るのでしようね。今、精一杯生かされていることに感謝しつつ来年の幹事さん、古市稔様、寺田喜代嗣様にバトンタッチいたします。感謝！

（草川 博、荻原貞子）

創立百周年記念テレホンカード

創立百周年のキャッチフレーズ「遵義の桜咲いて百年」の入ったテレホンカードができました。各周年同窓会などで販売ください。一枚千円。お問い合わせは事務局まで。



初年度(平成4年)に5年会費を
ご納入いただいた方へ!
引続き会費納入にご協力ください。

平素は当同窓会にご協力賜りまことに有難うございませう。当会は皆様方の会費によって運営されていきます。5年前の平成4年より年会費をいたたくようにになり、皆様方には積極的な会費の納入をしていただいています。さて、その時、5年分の会費を支払っていただいた方々に関しましては、平成8年度で会費満了になります。本年改めて年会費納入のご案内をさせていただきます。前回同様5年もしくは10年分の会費をまとめて納入いただければ幸いですが、ご都合により1年毎の納入でも結構ですので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

(財務部会長 高城 宗求)

木製レリーフ 寄贈される

この程、創立100周年のキャッチフレーズ「遵義の桜、咲いて百年」をモチーフにした木製レリーフが、西村 修氏(大高1回卒)より寄贈されました。

滋賀県立膳所高等学校同窓会 平成9年度年会費納入のお願い

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。平成9年度年会費納入用の振替用紙を同封いたしましたので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

なお、住所等に変更がある方は振替用紙の訂正欄にご記入をお願いいたします。

記

〔会費額〕 年会費 3,000円
5年会費 15,000円
10年会費 30,000円

いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。

新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。

〔納入機関〕(振替用紙は共通です。)

郵便局 01010-3-30378
銀行 滋賀銀行 本店(110)普 913381
びわこ銀行 本店(111)普 335940

いずれも名義は、
滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。

※同窓会からの領収書は発行していませんのでご了承ください。



このレリーフは、同窓会同期会の中でも活発な活動をしている、大高1会卒の会、「霜月会」の同級生で、書家で読売書法展会友の、林(富岡)久子さんによって書かれたものを彫ったものです。氏は、定年退職後、趣味として木彫りを始められ、今までに数多くの作品を残しておられますが、母校100周年の記念事業を盛り上げようとの思いから製作し、母校同窓会に寄贈されたものです。

事務局便り

百周年記念事業を一年半後に迎え、事務局体制もますます充実しております。女性スタッフ3人はローテーションを組み、学校・総務と連携を深め、事務をこなしております。また、各学年の周年事業の準備に際しては、発送作業の場所として同窓会事務局を活用いただいておりますので、お気軽にお申し出ください。

事務局日誌

同窓会会務報告

- 1996年
- 11・19 部会長・総務部合同会議
- 12・14 役員会
- 1997年
- 1・22 役員会
- 1・31 財務部・会計・総務部合同会議
- 2・13 部会長会議
- 2・22 役員会
- 2・28 同窓会入会式
- 2・28 広報部会
- 3・4 組織部・総務部合同会議
- 3・14 広報部会
- 3・22 理事会
- 3・22 広報部会

100周年実行委員会 会務報告

- 1996年
- 4・10 会計監査
- 4・18 第1回校内企画委員会
- 4・27 百年史記録部会「戦時下の教育」座談会(17名出席)
- 5・15 百年史記録部会
- 6・8 部会長会議
- 6・25 百年史記録部会
- 6・29 百年史記録部会「新制高校発足時の教育」座談会(17名出席)
- 7・9 部会長会議
- 7・17 百年史記録部会
- 7・20 記念行事式典部会
- 8・20 環境・施設整備部会
- 8・21 部会長会議
- 8・28 百年史記録部会
- 8・28 百年史記録部会「膳中時代の思い出を語る」座談会(9名出席)
- 9・16 百年史記録部会
- 10・19 百年史記録部会「東高1回〜膳高9回卒業生」座談会(9名出席)
- 11・13 百年史記録部会
- 11・15 第2回校内企画委員会
- 11・19 部会長・事務局合同会議
- 11・30 百年史記録部会「膳高10回〜23回卒業生」座談会(14名出席)
- 12・3 募金推進部・会計・事務局合同会議
- 12・26 募金推進部・会計・事務局合同会議
- 1997年
- 1・9 募金推進部・会計・事務局合同会議
- 1・22 部会長会議
- 1・22 募金推進部・会計・事務局合同会議
- 2・13 部会長会議
- 2・22 部会長会議
- 2・22 常任委員会
- 3・3 部会長会議
- 3・3 実行委員会

膳所高卒業生寄贈図書 「石鹿文庫」

著者名 書名・巻次(版次)

八幡和郎 「東京集中」が日本を滅ぼす

フランス式エリート育成法

ENA留学記

八幡和郎、加藤周二

東京をどうする 地方をどうする

遷都・夢から政策課題

官の論理

八幡和郎

官の論理

小林 博、村川行弘・編

弥生時代の大坂湾沿岸

山中淳二

真空蒸着合金薄膜の熱処理による微細構造変化の結晶学的研究

教育―理想と現実を結ぶもの

未明の歌・前田樹男作品集

前田樹男

スポーツ医学Ⅲ・けがをなおす

市川宣恭、大久保衛

行雲流水・黒羽先生ご夫妻の思い出

黒羽兵治郎博士追悼記念文集刊行会

い出

小山純明

赤色赤光白色白光

小林 博

ヨーロッパ都市の近代的変容

安土修三

SHUZO AZUCHI

安土修三

GULLIVER

山口善造

銀の芸術・創輝技展

国松桂彦

山口善造の世界

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。

同窓生の著書を集めた「石鹿文庫」も皆様のご寄贈で充実してまいりましたが、さらなる充実をめざしてご協力をお願いします。なお、ご寄贈いただく際には同窓会事務局までお知らせください。

栗東歴史民俗博物館・編
企画展 国松桂彦



百年史編纂室より

前号では編纂作業が快調である旨報告いたしましたが、百年史の予算額がなかなか決定せず、また校務も多忙な時期が続き、3ヶ月ほどは作業が進みませんでした。今回、当初の計画から変更があり、教育史の独立編集はできなくなりましたが、今まで準備していたものを何とか利用する形で、新しい企画に合わせていこうと考えております。引き続きこの欄では教育史的内容の進行状況や不明点の紹介をさせていただきます。よろしくお願いたします。

調べのある程度進んだものとしては、大津東高校時代の学校の様子、昭和35～45年ごろ、いかに学校が生徒の思想活動に抵抗を示していたか、といった当時の雰囲気、学園祭がブロック制になっていったところの様子、また仮装行列のなくなったことについての教育的見地、全入クラブの生まれた経過、毎年の宿泊オリエンテーションの内容、などがあります。

ただし座談会で伺った話もあれば、当時を知る先生のお話や、文部省からの指示と照らして教師の目で判断したものなど、その視点はさまざまに分れているという欠点があります。毎度のことではありますが、是非次のようなことについて、**当時在籍しておられた方の素朴な感想を伺いたい**と思いますので、FAXなどで気軽にコメントをお寄せ下さい。

【詳しく教えていただきたい内容】

・大津高校時代（あるいは大津東の最初の2年）の時間割を正確に示していただける方がおられましたら、「私はこのように組んでいた」というようにお知らせ下さい。また当時のA群B群C群などという言い方の正確な意味。週5日制の頃の土曜日の過ごし方などお願いします。

・昭和31年3月、野球部が甲子園に出場していますが、その時に校歌・道徳歌・応援歌などが練習されたと聞きました。それらの使い分けや練習量や生徒の間での愛され方というのはどう違ったのでしょうか。また、どこでどのようにどれくらい練習したのでしょうか。

・昭和39・40年度の修学旅行は東北・九州二手に分かれているのですが、東北はこの2年で終わっているようです。当時の人気はやはり九州の方が高かったのでしょうか。

【感想をいただきたい内容】

・美富士の前で食事をとった頃の宿泊オリエンテーションの感想。

・全入クラブの体育系のものの様子。

・「湖南三分割」が騒がれた頃の受験する側からの思い。

・センター試験に合わせ行事を改革した時の生徒の思い。

毎度同じような依頼ですが、どうかお願いします。

教育史編集担当
谷澤一輝（膳高32回卒）



- 上野滋子 (東2)・谷口啓司 (膳10)
- 田中美津代 (東4)・佐田葉子 (旧大)
- 山田 勲 (膳11)・宮崎美恵 (大3)
- 高橋好乃 (東4)・花坂多恵子 (膳6)
- 服部 章 (膳12)・岡澤(岩崎)則子 (膳26)
- 吉田 稔 (膳26)・福井 浩 (膳29)
- 谷澤一輝 (膳32)・松田和代 (膳33)
- 本多美香 (膳33)

●草木尽回春の出来事としてもう一つご報告します。私事ではありますがこの5月に結婚し数年の間、米国はシカゴで暮らすこととなりました。広報部会では第4号よりお手伝いさせていただき、それまでは膳所高校同窓会の活動もほとんど知らない状況でしたが、実際には多くの方々のご尽力によって様々な活動がなされていることを知りました。残念ながら私と前後する比較的若い年代の同窓生には、そうした活動をご存知ない、あるいは関心がないといった方も多いようです。私の家族は主人と2人の父親が膳所高校出身と、同窓会には縁があり、世代の橋渡しに少しでもお役に立てばと思います。今後はお手伝いさせていただいた広報部会の活動は出来なくなりますが「遊藝堂」へはシカゴ通信として投稿させていただきます。最後にになりましたが、上野副会長、谷口部会長を始めお世話になった部会委員の皆様、色々なことを教えていただき本当にありがとうございました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。

(膳33) 堀井美香(旧姓・本多)



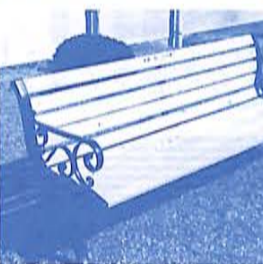
同窓会入会式

去る2月28日、本校体育館において、8年度卒業生の同窓会入会式が行われた。宇野勝会長より歓迎の言葉と、次代を担う若者への激励の言葉が贈られた。まず、優秀だった同期生が病氣や戦争で次々に亡くなったことにも、勉学も大切だが、第一に身体を大事にしてほしいと語られた。そして伝教大の「一隅を照らす」の言葉を紹介しながら、「決して縁の下の力持ちで満足せよというわけやなく、与えられた持ち場持ち場を大切に努力する、そういう意味で受け止めてほしい」と述べられた。会長のユーモアあふれる話術は新卒業生達を大いに笑わせたが、そんな明るい雰囲気の中でも、大先輩からの熱のある言葉は重みを持ってしっかりと伝わっていたようである。

理数科入試状況

1月21日の推薦入学と3月6日の一般入学の2回をもって理数科の入試が終了した。推薦入試においては、全県学区のため県下各地から58名の応募者が集まった。内訳は大津・滋賀学区より26名、湖南・甲賀学区より22名、それら以外から10名であった。面接検査、内申書等によって総合的に判定し14名の合格者を選ぶことができた。

一般入学においては、募集定員26名のところ定員枠が少ないことや第2志望回しの不安から安全志向が強く働き20名の応募にとどまった。学校案内の全県配布、学校説明会等精力的に取



去る2月28日、卒業式予行に引き続き、卒業記念品目録贈呈式が行われ、代表の3年11組加藤礼子さんが武原博校長に目録を渡した。記念品は鉄製(一部木製)ベンチ一式で、本校中庭の池の周囲にベンチ4台及びゴミ箱が設置され、休み時間や昼食時に頻繁に生徒が利用している。

卒業生ベンチを贈る

1001	1044	1085	1077
1006	1047	1086	1078
1011	1055	1088	2144
1014	1057	1089	2251
1024	1059	1070	2365
1033	1060	1072	2367
1038	1061	1073	2416
1041	1082	1074	2439
1042	1083	1075	2440
1043	1064	1076	2443

り組んで来たが残念な結果であった。そのため第2志望者を含めて、定員充足(26名)を図った。

今回の教訓を活かし次年度以降の取り組みを強めていきたいと考えておりますので同窓会会員の皆様のご理解とお力添えをお願いいたします。

サクラサク!

主要大学合格者数

一現浪明暗分かれる!

本年度の特徴として、京大文系学部への合格者が目立ちました。その一方、センターテストの中の一部教科で、現役用・浪人用の問題の難度に差があり、せつかく一年努力を積んできたのに、泣く泣く志望校をあきらめた浪人生も少なくありませんでした。

(国立大学)

北海道大	17名	京都大	40名
東北大	3名	京都教育大	5名
東京大	2名	大阪大	31名
横国国立大	4名	大阪外語大	9名
名古屋大	11名	神戸大	37名
滋賀大	18名	奈良女子大	11名
滋賀医大	6名	岡山山	10名
京都工織大	15名	広島大	8名
(公立大学)		京都府立医大	4名
滋賀県立大	4名	大阪府立大	16名
京都府立大	7名	大阪府立大	23名
京都市立芸大	2名		
(私立大学)		同志社大	11名
自治医大	2名	立命館大	11名
慶応大	13名	龍谷大	8名
早稲田大	23名	関西大	67名
中央大	7名	関西学院大	67名
東京理科大	4名	同志社女子大	29名
京都産業大	28名	近畿大	18名
京都女子大	20名	関西外大	30名
京都薬科大	21名		12名

(一部の大学については、前期分のみ数です)
平成9年3月31日現在

編集後記

暖かくなると、人や草木を始め様々なものの動きが活発になります。広報部会にもこの春素敵な出来事がありましたのでお知らせします。同窓会広報部員として活躍の岩崎則子さんが去る3月23日(日)にご結婚されました。華やかさと行動力が魅力的なそのお人柄は、広報部会にとっても貴重な存在です。ご多幸をお祈りすると共に、増々のご活躍を期待します。

●草木尽回春の出来事としてもう一つご報告します。私事ではありますがこの5月に結婚し数年の間、米国はシカゴで暮らすこととなりました。広報部会では第4号よりお手伝いさせていただき、それまでは膳所高校同窓会の活動もほとんど知らない状況でしたが、実際には多くの方々のご尽力によって様々な活動がなされていることを知りました。残念ながら私と前後する比較的若い年代の同窓生には、そうした活動をご存知ない、あるいは関心がないといった方も多いようです。私の家族は主人と2人の父親が膳所高校出身と、同窓会には縁があり、世代の橋渡しに少しでもお役に立てばと思います。今後はお手伝いさせていただいた広報部会の活動は出来なくなりますが「遊藝堂」へはシカゴ通信として投稿させていただきます。最後にになりましたが、上野副会長、谷口部会長を始めお世話になった部会委員の皆様、色々なことを教えていただき本当にありがとうございました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。

(膳33) 堀井美香(旧姓・本多)